

# 令和5年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

## ＜ 深沢地域 ＞

日 時	令和5年（2023年）7月10日（月） 午後2時～4時
場 所	深沢学習センター 第6集会室
出 席 者	自治会・町内会代表 19名（うち1名オンライン） 地域団体代表 2名 計21名 鎌倉市 4名
内 容	<p>第 1 部 市長からの説明..... P. 1            （1）市庁舎移転及び現庁舎の整備等について            （2）戸別収集の実施検討について            （3）かまくらこども相談窓口「きらきら」について など</p> <p>第 2 部 地域からの議題に関する懇談..... P. 16            （1）市役所本庁舎移転計画の進捗状況と、今後のスケジュールについて            （2）深沢地域整備事業及び新駅設置の進捗状況と、今後のスケジュールについて            （3）避難行動要支援者名簿について            （4）中外製薬(株)鎌倉研究所跡地の土地利用について</p>

出席者名簿 (敬称略)

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	梶原町内会	小團扇 勉	会長
2	梶原山町内会	須藤 清志	会長
3	鎌倉グリーンハイツ自治会	持館 久美子	副会長
4	いづみ自治会	弦巻 歩	会長
5	寺分町内会	鈴木 勝榮	会長
6	大平山丸山町内会	松本 賢悟	会長
7	西寺分自治会	矢沢 英夫	会長
8	大船ダイヤハイツ管理組合	潮田 徹	会長
9	山崎町内会	石渡 順二	会長
10	レーベンスガルテン山崎自治会	橋本 堅治	会長
11	ダイヤハイツ鎌倉自治会	犬飼 誠	会長
12	深沢地区連合町内会 (上町屋町内会)	内海 昌之	会長(当時) (会長)
13	深沢地区連合町内会 (第五地区民生委員児童委員協議会) (笛田町内会)	田島 重雄	副会長(当時) (会長) (会長)
14	笛田東芝町内会	横山 聡	会長
15	住友常盤自治会	埋橋 多喜代	会長
16	湘南深沢マンション管理組合	久住 悦子	会長
17	鎌倉うぐいす山自治会	深谷 敏之	会長
18	深沢地区連合町内会 (山崎西町内会)	檜山 宏	副会長 (会長)
19	サウスアリーナ鎌倉大船自治会	渡邊 睦美	会長(オンライン)

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	深沢地区社会福祉協議会	徳増 英夫	会長
2	第六地区民生委員児童委員協議会	宮田 進	会長

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	市民防災部長	永野 英樹	
3	まちづくり計画部長	林 浩一	
4	深沢支所長	片瀬 由久	

# 第1部 市長からの説明

## 【全地域共通】



令和5年度 ふれあい地域懇談会

# 第1部 市長からの報告

鎌倉市長 松尾 崇

---

# 1. 市庁舎移転及び現庁舎の整備等について

2

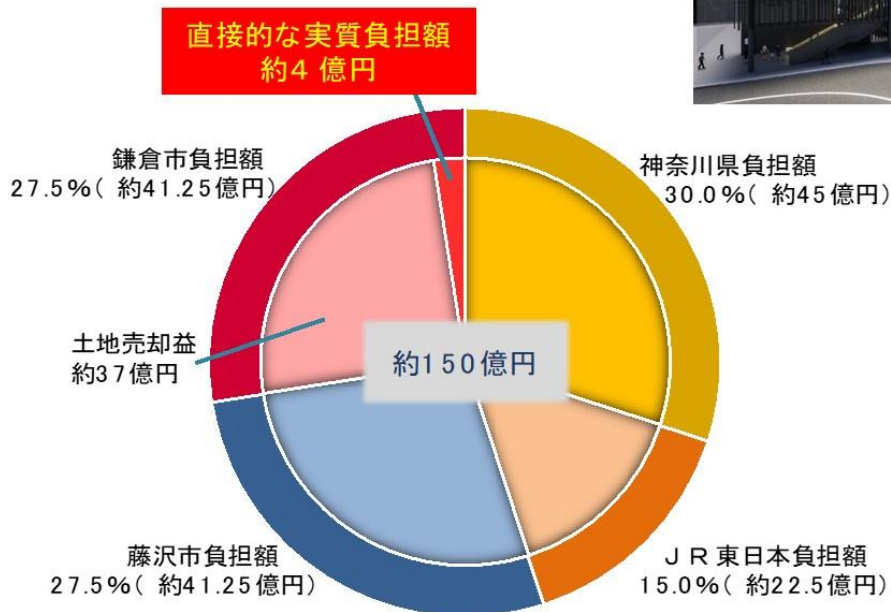
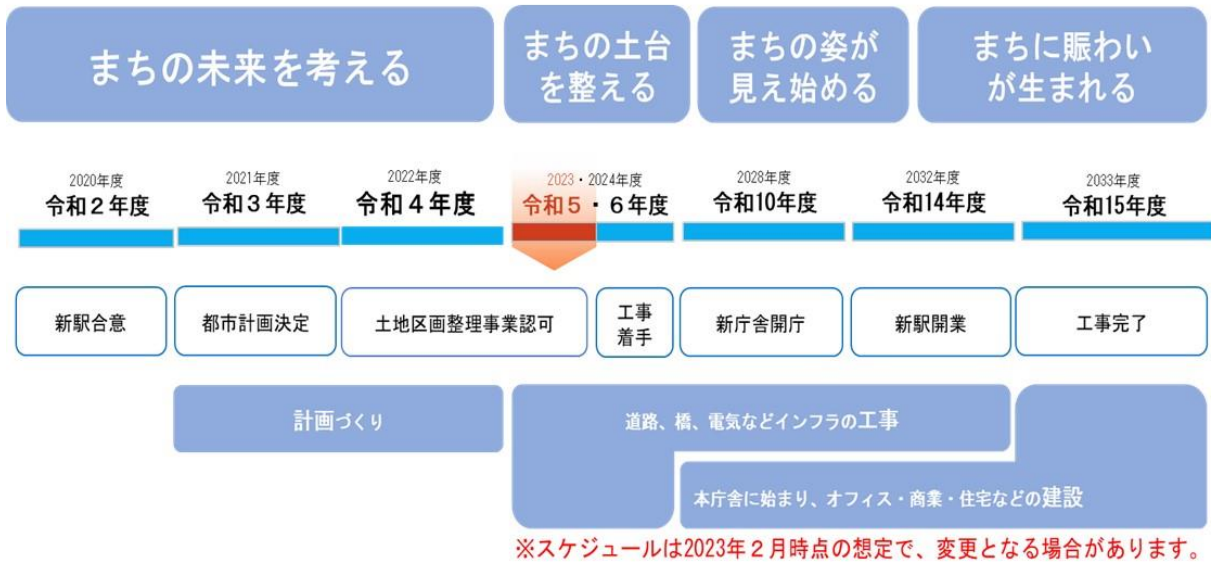
**鎌倉市役所移転に関する条例を提案  
賛成 16 反対 10で、出席議員2/3に足らず否  
決**

移転に向けた  
動きがわかりにくい

市民への情報共有が  
不足している

3







新庁舎は、市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を複合した施設の整備を計画しています

# 新庁舎

**1 まもる** ～災害に強くなります～

<p>耐震性能を備える</p> <p>大地震発生時も災害対応拠点として機能！</p>	<p>オンラインでの業務体制を備える</p> <p>様々な災害発生時も業務継続可能！</p>	<p>受援力を備える</p> <p>自衛隊、支援物資などの大規模な受入れ可能！</p>	<p>エネルギー・給水を備える</p> <p>ライフライン途絶でも概ね3日間自走可能！</p>
--	--	---	---

**2 やさしい** ～サービスの提供方法が変わります～

<p>全ての手続・相談が原則オンライン可能</p> <p>自宅等からスマホで簡単！</p>	<p>対面型の窓口も設置</p> <p>オンラインが苦手な人も安心！</p>	<p>ワンストップ・サービスの導入</p> <p>一か所で全て完結！</p>	<p>予約制も導入</p> <p>待ち時間短縮！</p>
---	--	--	------------------------------

**3 つながる** ～市民活動スペースが充実します～

<p>深沢図書館・学習センターの複合化！</p>	<p>カフェ等のほかフリースペースを導入！</p>	<p>まちづくり情報などを発信！</p>	<p>市民活動・市民交流スペースを大幅拡充！</p>
--------------------------	---------------------------	----------------------	----------------------------



- ・災害時、市役所との連携強化（アナログでも連携）
- ・グラウンドや市役所と連携した受援体制の強化
- ・グラウンドや体育館を活用した災害訓練（子どもたちが参加する防災イベント）

## 市庁舎現在地 ひらいて むすんで 知恵うむ “ふみくら”





## 中央図書館



## 生涯学習センタ



- ・老朽化、バリアフリー対応不足
- ・蔵書の収蔵や閲覧席スペース不足
- ・学習できるスペースがない
- ・雑談できるスペースは少ない

老朽化による維持管理費の増加の他、  
学習センターは借地

## 図書館・学習センターの事例



## ONE DAY PLAYPARK(市庁舎現在地の体感イベント)



約2,500人の方にご来場いただきました

14



### 本庁舎移転や深沢のまちづくりに関する「出張意見交換会」のお知らせ

- 「市役所移転の理由がわからない」「深沢のまちづくりの中身がわからない」「これからの公共施設を、市はどう考えているの?」といった市民の方の声をいただくことがあります。市では、できるかぎり多くの方々とまちづくりの取組を共有し、意見換しながら、いっしょに進めていきたいと考えています
- 地域の方から「本庁舎移転」や「深沢のまちづくり」などについて、説明や意見交換の要望がある場合、身近な場所で「出張意見交換会」を開催します。地域共生課までご連絡ください。23-3000（内線2660）

15

## 2. 戸別収集の実施検討について

16

### 戸別収集の実施検討について

#### 実施理由（なぜ検討するのか）



#### ◆クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減

- 高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活するすべての方々のごみ出し労力の軽減
- 不法投棄や動物被害の対応、設置場所の調整、当番制による管理などクリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担軽減

#### ◆ごみの減量のため

- ごみ出しの責任が明確化され分別が進み、ごみの減量につながる  
**持続可能な収集体制**を構築していく

17

## メリット、デメリット

### ◆メリット

- 市民のごみ出し労力の削減
- クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減につながる
- ごみ出し責任の明確化により分別が進みごみの減量につながる

### ◆デメリット

- 収集箇所の増加により、収集時間がかかってしまう
- 車両を増やして収集する必要がある
- 収集に要する経費が増える

18

## 疑問点、懸念点

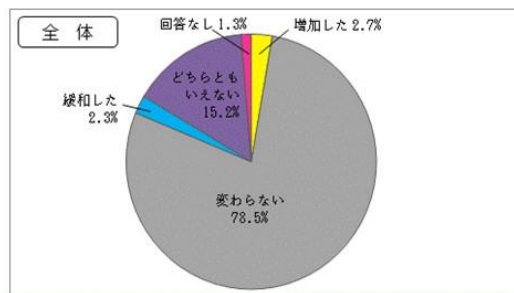
### Q.動物被害が心配。

A.ご家庭に応じたバケツやネットをご用意いただくことを想定しています。また、モデル事業時のアンケート調査では、クリーンステーション収集の時に比べ、カラス等の被害が「減った」あるいは「変わらない」と回答した方は83.6%でした。



### Q.交通渋滞がおきるのでは？

A.モデル事業時のアンケート調査では、交通渋滞等道路環境の変化について「変わらない」と回答した方は78.5%でした。モデル事業時にも狭隘道路での収集を行いました。問題は生じていません。



19

## 現在の取組み

### ◆収集体制の構築

- 効率的な収集に向けたエリア分けの見直し
- エリア特性（狭隘地区、共同住宅、住宅団地地区など）に応じた収集方法見直し
- 収集曜日、収集回数や分別区分の適正化

### ◆収集、制度構築にあたって必要となる経費の算定

⇒経費に対する考え方を整理した上で、意見公募を行うため全体的な経費見直しを作成

## 今後について

戸別収集のあり方について審議会で審議

⇒実施方針案の策定

⇒市民説明会・実施方針案に対する意見公募

⇒実施方針確定

## 3. かまくらこども相談窓口 「きらきら」について

開設

# かまくら こども相談窓口 きらきら



令和5年（2023年）4月3日に相談の拠点となる窓口を市役所第6分庁舎に開設しました！

## かまくらこども相談窓口「きらきら」について



個室の相談室

個室で安心して相談  
できます。



オンラインで各課等と相  
談ができます。



- ・ゆっくりとお話を伺ったうえで、必要な部署と連携し、対応します。
- ・関連する担当間で情報を共有し、部署の垣根を越えた支援に繋がります。
- ・窓口からオンラインでの相談もできます。



## かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・子育てメディアスポットを市役所本庁舎から移設するとともに、情報発信コーナーを拡大しています。



情報発信エリアを拡大しています。また、子育てに関する書籍や子供向けの本等を配置するエリアを設けています。



ラウンジでは休憩や離乳食の持ち込みもできます。



24

## かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・授乳室（2部屋）やキッズスペースを設置しています。



授乳室は個室で鍵もかけられます。



キッズスペース、絵本、おもちゃも揃っています。



・いつでも遊びに来てもらって構いませんので、お気軽にお立ち寄りください。

25

## 4. 災害時の避難所について

26

### 災害時の避難所について①

#### ● 地震災害時

市立小中学校（25校）

開設条件（職員自動参集）

- 市内で震度5強以上の地震が観測されたとき
- 隣接する市（横浜市にあっては区）で震度5強以上の地震が観測されたとき

27



## 災害時の避難所について②

### ● 風水害時

市立小学校（16校）  
行政センター（4か所）  
ほか

## 第2部

### 地域からの議題に関する懇談

05 深沢-1	市役所本庁舎移転計画の進捗状況と、今後のスケジュールについて
05 深沢-2	深沢地域整備事業及び新駅設置の進捗状況と、今後のスケジュールについて
05 深沢-3	避難行動要支援者名簿について
05 深沢-4	中外製薬(株)鎌倉研究所跡地の土地利用について

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 深沢-1
テーマ	市役所本庁舎移転計画の進捗状況と、今後のスケジュールについて
内容詳細	計画の進捗状況と今後のスケジュールについて教えてほしい。
担当部課	市街地整備課

議題に対する回答等	
<p>令和4年（2022年）市議会12月定例会にて「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」が否決（賛成16名・反対10名）となりましたが、その審議において、議会からいただいたご指摘に応えるべく、改めて広く情報発信や共有に取り組むとともに、特に鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の策定に注力し、「現在地に整備される行政機能などが不明確」という課題を解決したいと考えています。</p> <p>また、鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画の策定過程において、新庁舎等の整備や市庁舎現在地の利活用について市民・議会等と議論を進め、更に理解を広げることで、新庁舎整備を進めていきたいと考え、時期は未定ですが改めて位置条例改正案の提案を行っていきたいと考えています。</p> <p>発災時に司令塔となる新庁舎の整備は、市民の命と暮らしを守るために実現しなければならない事業であり、老朽化の著しい現庁舎の環境改善は待ったなしの状況であることから、位置条例の改正案の否決を受け、基本設計等の業務の実施にかかる委託料の令和5年度（2023年度）歳出予算への計上を取り止めるなど、新たな業務への着手は行わないこととしていますが、令和4年度（2022年度）予算として議決を得た債務負担行為に基づく「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画策定支援等業務委託」などは、しっかりと取組を進め、市民・議会の理解を得た上で、早期の実現を目指していきます。</p>	
添付資料	

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 深沢-2
テーマ	深沢地域整備事業及び新駅設置の進捗状況と、今後のスケジュールについて
内容詳細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の進捗状況と今後のスケジュールについて教えてほしい。</li> <li>・ 事業実施にあたり課題になっていることは何か。</li> <li>・ 市有地及びJR所有地の暫定利用状況について、現状と今後の予定を教えてほしい。</li> </ul>
担当部課	深沢地域整備課

議題に対する回答等

深沢地域整備事業及び新駅設置の進捗状況と今後のスケジュールについて

深沢地域整備事業区域で実施する土地区画整理事業については、藤沢市村岡地区と鎌倉市深沢地区の一体施行として、現在、施行予定者となる独立行政法人都市再生機構が国土交通大臣に対し、事業計画認可の申請を行っています。

今後、国土交通大臣から事業計画認可を受けると、令和6年度から段階的に工事に着手し、下水や道路が完成したところから供用を開始します。令和15年度には全体の整備が完成する計画です。

また、令和5年3月には、新しいまちづくりの取組方針となる「深沢地区まちづくりガイドライン(案)」を作成し、建築物やまち並みの景観ルールに加え、まちに求める機能や用途のほか、地域の価値を維持、向上させるための取組方針なども示しながら進めています。

さらに、新駅設置については、現在、JR東日本が詳細設計を実施しており、順調に進めば、令和6年度から工事に着手し、新駅の開業は令和14年度頃と見込んでいます。

事業実施にあたっての課題について

深沢地域整備事業区域の周辺道路については、都市計画決定手続の際、交通管理者である神奈川県警と協議を実施していますが、道路混雑を心配する声を頂いていることから、さらなる道路環境の改善のため、令和5年度には、事業区域の周辺道

路の現状を把握し、将来の交通環境の変化などを踏まえた、道路整備計画の作成を予定しています。

#### 市有地及びJR所有地の暫定利用状況について

現在、市の所有地では、多目的スポーツ広場や自転車駐車場、深沢駅前広場として活用しているほか、徳洲会スポーツセンターや時間貸駐車場、テニスコート、流鏝馬練習場などの暫定利用を行っています。

また、JRの所有地では、サッカー場や資材置き場などの暫定利用を行っており、市の所有地及びJRの所有地については、今後予定する土地区画整理事業の基盤整備工事に支障がないように、各施設の暫定利用を終了する予定です。

添付資料

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 深沢-3
テーマ	避難行動要支援者名簿について
内容詳細	<p>毎年、自治町内会で名簿の差替作業を行っているが、未だに使い勝手が悪く自治町内会の作業負担が大きい。「新規」分の欄には「○」印を表示させたとのことであるが、「変更」分の抽出はできておらず、今後もシステム改修などで更なる改善はできないか。</p> <p>昨年度も上記の内容を提出しており、「名簿管理・提供体制について、今後も運用方法の見直しや、システムの改修を含め検討予定です。」とのことだが、検討内容についてある程度具体的に示すことはできないか。</p>
担当部課	総合防災課

議題に対する回答等	
<p>自治会・町内会へ提供している避難行動要支援者名簿（以下「名簿」という。）は、令和元年度のシステム更新により、避難行動要支援者登録台帳の「新規」欄に「○」印を表示させることで名簿に新規掲載された方が分かるようになったところですが、「変更」分の抽出は既存のシステムでは対応しておらず、現時点では変更情報の提供はできない状況です。</p> <p>名簿を提供している他団体からも名簿管理・提供体制についての御意見をいただいております。また、令和6年度にはシステムの更新を予定していることから、これらの意見を反映した運用方法の見直しやシステムの改修について、大幅なシステム変更を含め、使いやすいシステムとなるよう現在検討しているところです。</p>	
添付資料	

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 深沢-4
テーマ	中外製薬(株)鎌倉研究所跡地の土地利用について
内容詳細	<p>梶原にある中外製薬(株)の鎌倉研究所は、戸塚の新研究所に集約され閉鎖された。その跡地の一部の建設計画は把握しているが、他の跡地部分の土地利用などについて、市として把握している計画はあるか。</p> <p>また、跡地は土地区画整理事業の区域に隣接しているが、現時点において、深沢地域のまちづくりへの影響を市としてどう考えているか。</p>
担当部課	土地利用政策課 深沢地域整備課

議題に対する回答等	
<p>市では、事業区域が5,000平方メートル以上となる開発事業を行おうとする事業者に、当該開発事業の内容を市に届出することを「鎌倉市まちづくり条例」で義務付けています。</p> <p>令和4年度ふれあい地域懇談会での回答において、「上記届出がなされており、市では土地利用計画を把握している」ことを回答しています。</p> <p>その後、当該地の北側部分では、高砂香料工業株式会社が令和5年4月21日に現地に標識を設置し、研究所の建設計画を公開しています。また、残りの部分については、今後、開発事業者が現地に標識を設置した後に公開することとなります。</p> <p>深沢地域のまちづくりへの影響については、当該地開発事業と相乗効果が得られるように、調整、検討を進めていきたいと考えています。</p>	
添付資料	

## 第1部から第2部まで市からの一括説明後、質疑、懇談

### <松尾市長>

1番目の「市役所本庁舎移転計画の進捗状況と、今後のスケジュールについて」ですが、先ほど申し上げたところでほぼカバーさせていただいているかと思っておりますので、もし、いやそういうことじゃなくてここは聞きたいということがございましたら、ご質問いただければと思います。

2番目の「深沢地域整備事業及び新駅設置の進捗状況と、今後のスケジュールについて」でございます。これもご説明させていただいたところですが、新駅につきましては、令和6年度から工事着手をして、JRからは約8年かかると聞いておりまして、新駅の開業は令和14年を見込んでいますと伺っております。

事業実施に当たっての課題点につきましては、これは住民の皆さんからも多数ご指摘をいただくところですが、交通渋滞の問題があります。深沢のまち周辺の道路がやっぱり歩道が充分でなく渋滞も起きているというところで、深沢のまちづくりを進めて大丈夫なのか、というご意見、ご指摘をいただきました。これが、そういう意味では一番課題であると考えています。我々としましては、1つは、深沢小学校の前の道路について、歩道も十分に整備されていないということがありますから、ここをしっかりと整備してまいりたいと考えておりまして、現在、調査に入っているところです。順次設計をして工事に入ってまいりたいと考えております。

もう1つは、藤沢鎌倉線の県道でございますが、こちらも渋滞が起きているという状況がございます。できることをやっていくというところでは、手広の交差点ですが、あそこに右折レーンをつくる予定ではあるのですが、まだできていないという、つまりは土地の買収ができていないという、こういう課題がございます。本来は神奈川県が行う事業ではありますが、鎌倉市としてもその土地の交渉などに市が積極的に関与していくことによって事業が進むようにということ、いま行っています。それから、バスが止まることによる渋滞ということもありますので、バスベイをつくれるように、土地の所有者と交渉しながら、設置に向けた取組みに鎌倉市として積極的に関わりながら、それが実現できるように進めてまいりたいと考えております。

そもそも深沢のまちづくり自体でも、周辺道路の整備というのは当然やってまいります。湘南モノレールの富士見町駅から湘南深沢駅、それからその先の道路につきましては、当然道路も拡げ、歩道も拡幅していくことを予定しております。また、湘南町屋駅から三菱電機に入っていく道路、東西の道路になりますけれども、こちらなども深沢のまちづくりに合わせて整備を予定しているところです。その他、深沢のまちづくりの周辺につきましては、道路整備について計画の中でしっかりと行ってまいります。

それから、現在の深沢の暫定利用されている状況についてです。徳洲会のスポーツセンターがあつたり、テニスコートがあつたり、サッカーのグラウンドがあつたりということでもありますけれども、こちらにつきましては令和6年度頃から工事着手に入りますので、暫定利用を終えていただく必要があるということで、既に暫定利用している方々にはしっかりと話をさせていただいているところです。現在のところ、令和6年3月末で全て原状復旧していただいて土地を返却していただくというお約束をさせていただいているところです。

3番目の「避難行動要支援者名簿について」でございます。こちらにつきましても、これまでもふれあい地域懇談会で何度もご指摘いただいていたところでございます。なんとかできるところはということで取組み



をしております。今回ご指摘いただいた点につきましては、まだ対応できていないところです。システムの改修の際には、ご指摘事項を含めて対応してまいりたいと考えております。

4番目の「中外製薬(株)鎌倉研究所跡地の土地利用について」です。こちらにつきましては、ここに書いてございますけれども、北側部分のところについては正式に決定しておりまして、高砂香料工業株式会社が研究所の建設計画を持っておりまして、これを現在進めているところです。その他のところにつきましては、皆さんも噂を耳にしたり、地域の説明会などもあったりと聞いているところであり、いろいろと情報があろうかと思えますけれども、現在、相談などを受けているところでございますので、行政の方から情報提供をさせていただく段階にはまだないというところでご理解いただければと思っております。

#### <山崎西町内会 檜山会長>

地元ということではありませんけど、そうじゃなく広く考えた場合に、市役所の移転に関する事で最初に16対10で成立しなかったということで、非常に私どもも市役所ができるもんだと期待しつつ信じているのですが、我々の町内の老人会で話題になりまして、市役所はできないんじゃないか、反対されたんだという意見が非常に出て、心配していました。市議は非常にこの字面だけで反対意見、市議会から反対が出てできないんだという理解が、最初に印象としてきているのですね。そういうことに関して、もうちょっと早く安心させてもらいたい。何をもち、何が駄目なのかとか、もしくは市はこれに対してどういう努力して市役所を続けるんだということをやっぱり広めてほしいのですね。皆さん心配しているのですよ。つくってほしいが故に心配していますので。中には、どの議員が反対したんだとかエキサイトしていましたが、いずれ市役所の方が努力されて3分の2以上に持っていかれるだろうと私たちは説明したのですが、いま市の当局は、市議会に対してどういう努力をされているのか。いずれ市議会を通らないと。議会への提出を見送ったということがありますね。途中で。ですから、どういう努力をこれからして安心させてくれるのか。ちょっとお聞かせください。

#### <松尾市長>

ありがとうございます。安心という意味では、これは可決をしていただくという結果をもってしか成せないと思っておりますので、なんとか可決をしていただくための努力をこの間やっております。議員さんには、やはり反対だった方に賛成していただかなければいけませんので、議員さんそれぞれに主張が違いますが、そこに合わせた形で、行政としてももっとこういう計画を少し変えて、変えてというかより盛り込んで、ご理解いただくことができるのではないかと、ご指摘いただいた点にちゃんと応えていくというようなところで進めております。

その内の1つが道路の問題を具体的に進めていくことですか、あとは市民の方が知らないという、やっぱりこれはちょっと空気をつかむような話ではあるのですが、しっかりと我々としては努力をずっと続けていくことですか、こういうことをやると。もう一方で、市民の皆さんにもご理解をより深めていただかなければいけないということで、議会对応だけをしていても市民の皆さんが「いや、なんだか議会と市でもめているみたいけど、よく分からない」という状況になってはならないと思っております。繰り返しになりますけど、市民の皆さんに「そもそもなんでこの市役所を移転しなければいけないか。じゃあこれ、やめたと言って済む問題だったらやめてもいいのですが、そうならないからやっている」というところをやっぱり皆さんにより

理解していただいて、それが全体の推進力とならなければ、そもそも私、言い方が難しいですけども、市長として2回選挙をこの公約で勝って、市民の皆さんからその負託を受けてやっているものですから、これを途中で投げ出すわけにはいきません。市民の皆さんにそのことがもし理解されていないとすれば、より深く理解していただく必要があると思っております、この両輪をしっかりと実現できるように、結果として可決いただけるように進めているというのが現状です。

#### <山崎西町内会 檜山会長>

雰囲気はどうですか。議員さんの雰囲気は。

#### <松尾市長>

なかなか議員さん一人一人のことを私が印象で述べるのもいろいろとハレーションが起きるかもしれませんが、正直申し上げて、もう絶対反対だという方もやっぱりいます。これはもうそういう意味では移転することに絶対反対なので、もうちょっと対案の出しようがないというところなんです。ただ、議員さんの中には、先ほど申し上げましたように、まだ市民がよく分かっていない、市民に伝わっていないということを課題にされている方がいらっしゃいますので、ここはすごくチャンスがあるというふうに思っています。それから、今の市役所の場所の跡地の使い方がよく分からないから反対だというふうに強くおっしゃっている方もいらっしゃいますので、ここもチャンスがあると思っております、現在の市役所の場所の基本構想ということまではつくったのですが、より詳細な基本計画というものを今つくっているところです。これが明確になることによって、ある程度ご理解をいただけるものと思っております、いま進めています。

#### <大船ダイヤハイツ管理組合 潮田会長>

ごみの焼却炉のことが、今日全然触れられていない。触れたくないのかもしれない。だけれども、これだけ文化とかを大切にする鎌倉市で、自分たちの出すごみを他所の市にお世話になって焼いていると。昔2つあった焼却炉が、1つはもう壊れて使えない。いまある名越の焼却炉もそろそろ寿命だというような話もちらほら聞いている。そうしたらどうなるのでしょうか。他所の市にお願いしなければならない。自分たちが毎日食べたりして出したごみを、他所の市に頼んで処分していいのでしょうか。私はそうじゃないと思うのですね。

議員さんが今日はいらっしゃるのか、いらっしゃらないのか分からないですけど、鎌倉市の議員さんというのは、全国的に見ても結構高い賃金をもらっているんだと思います。前はそのように聞いておりました。決して低いレベルじゃないと思うのです。それだけもらっている議員さんが、本当に真剣にそういうことを考えて討論しているのだろうか。恥ずかしくないのですか。自分たちの出すごみを隣のまちに、すまないけど燃やしてくれないかと。遠くのまちに持って行って燃やしてくれないかと。議員さんたち恥ずかしくないのかなと思うのですね。

遠くまで持って行って処理すれば、税金をそれだけ使うわけですよ。けれど議員さんの給料は減らないですよ。高い給料をもらっている議員さんは。本当に議員さんたち、自分の給料を下げてでも、なんとかしようという思いで検討してくださっているのかどうか。市長さんにお願いしたいと。私はやっぱり恥ずかしいと思うのですね。ですから、中外製薬の跡地がないならば、要望がないならば、その深沢の土地だって候補地の1つにたぶん上がったんだと思うのですけど。

先日、私は自分でごみ捨てに今泉まで行きました。あそこは残念ながらもう炉はありません。つくれないんでしょうね、きっと。でも、やっぱりそこは真剣に考えなきゃいけない問題だと思うので、大体この中に一言も出てこないというのは、市長、これおかしいんじゃないでしょうか。

### <松尾市長>

ありがとうございます。大変重要なご指摘でございますので、私の方から説明させていただきます。実はふれあい地域懇談会では、これまでごみの問題について、ほぼ毎年私の方から説明させていただいてきました。重要な問題です。今回は新たなこともなかったものですから載せてなかったのを、改めてちょっとご説明させていただきます。

確かにごみの焼却炉をつくるということ、一度、私としては方針として持ちまして、それを1回方向転換するというのがございました。そこについては大変申し訳なく思っているところでございます。ではどうして方針転換があったのかですけれども、鎌倉市のごみ問題はご案内のとおり長い歴史がございます。30年前、当時はまだごみの焼却がほぼ全てで、約7万トンのごみの焼却をしていたという時代がございました。この時に、当時の市長さん、市役所としては、ごみの半減計画ということを出し出して、ごみの焼却炉を2炉から1炉にするという方針を出したというところに発端がございます。その後進めてきましたが、なかなか半減には至らないというようなことが、それから10年ぐらいありました。減らないのであればもう一度焼却炉をつくるべきだなんていう話も出たりして、またそこが住民の議論になるというようなことで、ちょっと紆余曲折がありました。

もう少し申し上げますと、実はその間に、広域化という課題が出ます。これは神奈川県の中で、県内全部のごみを県央の方に持って行って1か所で処分するという、こういう構想を神奈川県が打ち出したんですね。鎌倉市とすると、それに乗っかって行政の方針を転換するというを行いました。それまでは、ごみを広域で処理するというのを鎌倉市は、横須賀、三浦、葉山、逗子、鎌倉の広域で処理をするということが計画として決まっていて、この枠組みの中で、鎌倉市はもう焼却炉は担当しないというような形で進めてきたという経過がありました。しかしながら、これをエコループプロジェクトというのですけど、神奈川県全体の方に計画が移り、そっちに鎌倉市が乗ったものですから、三浦半島の広域化の方が崩れてしまった。こんな経過がございました。そして鎌倉市は、逗子と鎌倉の2市で、逗子市が焼却炉、鎌倉市が生ごみの資源化施設、という枠組みをつくったのです。しかしながら、これも逗子市が鎌倉市に生ごみを持っていかないという宣言をされて駄目になったという、こんな紆余曲折があった後、私は市長に就任させていただきました。

そして、方向性として、市のごみを安定的に処理することが最重要課題でありますから、それをどうするかという視点で取組みを進めてまいりました。1つは、手段としてはごみの焼却炉ということがありましたものですから、そういうことを一度方針として出しましたけれども、そこを転換させていただいたのは、実は日本中のごみの焼却炉が余ってきているということが1つあります。逗子市の焼却炉がかなり余ってきて、鎌倉市のごみも受けることができますよという、こういうお話もいただいたところだったのです。

そういうことからすると、それまでは他市でごみを燃やすなんていうのはおっしゃるように恥ずかしかったり、もしくは市長が変わるとそれが破棄されたりということで不安定にも見えますが、現在はそうではなくて、むしろ余っている焼却炉を有効活用することによって、自治体とすると、ごみは受けるけれどもその分費用ももらうということでも有効活用していくという、こう考え方が変わりつつあって、それぞれ自治体の中ではごみ

を引き受けるということが出てきているということがありました。

こういうところが1つの節目になっているというのと、もう1つは、これまでは先ほど申し上げたように7万トンのごみを焼却していたのですが、現在は3万トンを切るところまで焼却ごみは減ってきています。でも、ごみの総量はほとんど変わってなくて、では残りの4万トンはどうしているのかというと、これはリサイクル、リユースなんですね。そこから見ると、実はもうごみの処理というのは焼却がメインではなくて、正にリサイクル、リユースしていくということが非常に重要になってくる。もうちょっと言うと、いま世界中にSDGsという話もありますけれども、そもそもごみのない社会をつくっていくということで、つくる段階からごみにならないものを製造していくというように、世界全体が変わっていかようとしている中でありますから、新しく焼却炉をつくるということの流れよりも、ごみ処理をするというのは焼却だけではなくて、リユース、リサイクル、そしてごみにならないものを使っていくという、こういう流れの中で進めていく必要があるというように考えて、方針転換をさせていただいたところです。

鎌倉市としては、ご指摘のとおり、今後、逗子市の焼却炉で燃やさせていただくのですが、逗子市も決して地元から反対という意見は大きくは出ていなくて、ちゃんとご理解をいただいて進めております。将来的にはその逗子市の焼却炉もなくなるということになります。それまでに焼却ごみがほぼゼロに近い状況にできていればいいのですが、仮にできていないということだと、これはもう自治体だけではなく民間の焼却施設やリサイクル施設も活用しながらごみを安定的に処理するという状況になってきます。そのような形で鎌倉市としては進めていきたいということで、現在、ごみ処理施策を進めさせていただいているところです。

あと、ちょっと蛇足ですが、鎌倉市議会議員の給与ですけれども、年約780万で、これは決して県内の近隣他市と比較してもそんなに高いということではございません。鎌倉市の給与関係で高いというと、以前、市職員の退職金が日本一になったということがありましたが、これはもう是正されました。あとは市職員の平均給与も日本一高いという時代もあったのですが、これも是正されて、今は県内でもちょうど真ん中ぐらいになっているという状況です。

#### <大船ダイヤハイツ管理組合 潮田会長>

どうもありがとうございました。新たに情報がないところで失礼なことを申し上げたと思うのですが、ということは、鎌倉市としては焼却炉をつくるつもりはないということをおっしゃられたというわけですか。

#### <松尾市長>

はい、そのとおりでございます。逗子、葉山、鎌倉の2市1町の枠組みの中で、現在、逗子市が焼却をしていいよということでしていただいています。この2市1町で話をしている中でも、将来的にはこの2市1町でもう焼却炉はつくらないでいこう、ゼロ・ウェイストという方針に向かって、ごみを処理するということに関して焼却という一択ではなくさまざまな手法でごみを処理していくということと一緒にやっていこう、というように協議をしています。

#### <湘南深沢マンション管理組合 久住理事長>

先ほどのお話でちょっとよく分からないことがあったのですが、新駅をつくる費用のことで、なにか新開発によって深沢に利益が出るからその利益を回すというふうに言われたのですが、その利益というのがよく

分からないのですけど。

### <松尾市長>

区画整理事業という手法の中で、実は土地の区画整理をすることによって、現在の土地の価値が上がります。その土地の価値が上がることによって、例えば100の大きさの土地を持っているとしますと、実際に区画整理をした後には、その土地を持っている方というのが60とか土地の大きさからすると減っていくということになります。プラスして減歩という手法がありまして、その100持っている土地の幾分かを提供するという、それは道路を造ったり、さまざまなインフラをつくったりするために土地を提供していただくという、こういう手法を使って、土地の所有者の方に土地の価値が上がる分の負担をしてもらって、その分を利益として出して、それでまちをつくっていくというやり方をします。

### <まちづくり計画部 林部長>

例えばこれが深沢の31ヘクタールだとしますけれども、あの場所というのは、元々は国鉄の工場があったり社宅があったりしていたのですけど、皆さんの土地は整形されてはいないですよ。造成をした住宅団地の中は、大体真四角の宅地が形成されていると思います。ただ、元々は不整形なところもあるので、形を整えていく。それから道路づけをよくしていく。それから雨水の調整池などをつくったり、公園を造ったりする。そういうのが基本的な土地区画整理事業というものになります。

市長から先ほどご説明がありました、道路を造ったり、公園を造ったり、それから雨水調整池、雨の時に水を貯める公共施設ですが、こういったものを整備するために、公共減歩と言って、皆様から少しずつ土地を出していただく。この土地というのが幾ばくかあるのです。先ほど市長が申し上げた100ある内の、大体5とか10、あるいは15の方もいるかもしれないけど、元々の土地の使われ方によっても変わってくるのですが、そういう公共減歩というものと、それから先ほどの利益を上げる、土地を売るということなのですが、皆さんから少しずつ出していただいた土地を例えばここにひとまとめにして新しい土地をつくる。これを売っていくという作業をしています。これが保留地という土地なんですね。ここに新しい土地を保留して、それを売却していく。これは保留地売却益と言いますが、この売却益をもって道路を造るなど全体の工事をやっていく。その売却益が、土地の増進といいますけれども、新しく駅ができた、きれいな土地になったりすることによって、土地全体の価値が上がっていくのです。

保留地の価値も上がっていく中で、先ほど市長が申し上げた約37億円と見込んでいる部分について、41億円かかる新駅の内37億円は同じ区画整理事業の一部として扱ってもらえるということが国の方であるものですから、41億2,500万円かかると言われている新駅の整備のうちの約37億円については、この土地を売った利益の一部を充てることによって、新駅をつくるための市の持ち出しは約4億円で済むだろうという計算をしています。

ちょっと分かりづらいかもかもしれませんが、少しずつ土地を出していただいて、特に大規模権利者であるJR東日本さんがたくさん土地を持っていますし、あそこは工業専用地域といって工場しか造れないのです。住宅を造ったり、商業施設を造ったりできない土地なので、土地利用制限が厳しい土地です。それが、区画整理事業をやることによって、新しい用途にできる。そうすると、住宅も造れます。商業施設も造れます。業務ビルとかも造れます。となると、土地の価値が上がるのです。そうすると減歩の率が大きくなります。価値が上が

るから、例えばこれだけの土地でもって100の価値があったとすると、形を良くすると、その100の価値はこれぐらいになる。価値が上がるけど面積が小さくなる。つまり、減歩されてしまうということになります。

**<湘南深沢マンション管理組合 久住理事長>**

分かりやすく言うと、余分な土地というか出してもらった土地がありますよね。それを売ると市の財政に入るのですか。それでそれを使うということですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

この土地区画整理事業というのは、実際に施行するのはUR都市機構がやるわけです。URというのは国の関係する機関ですから、特に利益を上げるということではないので、プラスとマイナスがちょうど一緒になるような形で工事をしていきます。ですから、お金が市に入ってくるということとはちょっと違うのですけれども、その払い方というのはいろいろあるのですよね。保留地を売っていくのはURです。URが売った保留地の処分金の内の37億円を駅整備費用として鎌倉市に出しますということなので、ここは今、JR、URといろいろな話をしているところです。

**<深沢地区社会福祉協議会 徳増会長>**

今のお話で、もし新駅をつくらなかったら、37億円はどこへ行っちゃうのですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

37億円の部分については、新駅を造らないという場合であっても、このまちの中の区画整理の事業に使われることになります。仮にその37億円が浮いたと、駅がなくなってやらないとなって37億円浮いたよとなったら、じゃあ舗装をもっとよくしましょうとか、グレードが上がってくるということになります。簡単に言うとそういうことになります。

**<松尾市長>**

もうちょっと言うと、駅をつくらなくて、じゃあ37億円の利益が出るかということ、それは出ないんじゃないかと。

**<深沢地区社会福祉協議会 徳増会長>**

理解の仕方がね。ちょっと今お話があったように、分かりにくいんだよね。

**<まちづくり計画部 林部長>**

駅ができることによって土地の価値というものも上がってくるだろうという見方があって、駅があった場合の両市一体の区画整理と、駅がない場合に鎌倉市だけで区画整理をやった場合、どっちが得なんだろうという計算をしたわけなのです。そういう中で、藤沢市と一緒に駅をつくって神奈川県との協力もいただいてやった方が、今後の深沢のまちづくりの価値の増進が大きいよねという判断のもとに算出をしているところです。

**<ダイヤハイツ鎌倉自治会 犬飼会長>**

この37億円、根拠はないのですけど、何坪分ですか。なにか前の説明で聞いたのだけど、そういう説明はできないというようにお話をいただいています。それと、この37億円は、出たとしてもこの事業で使うのですよね。市議さんにお話を聞いたのですけど、他には転用できないよと。例えば小学校なんかはいまポロポロだから、新小学校を開設したらいいんじゃないかと思っただけで、これで得た37億はあくまでもこの開発の方に投資するしかないですよ。それを市民の皆さんにきちんと説明していないと、他に使えるんじゃないかと考えてしまう。私なんかはそんな説明を聞いたことがないから、新駅というよりも小学校の方に、と思ってしまう。

それで先ほどの話、37億円は何坪分ですかね。これは本当に37億円の益が出るのですか。そこが心配です。その説明をいただけますか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

売却をした後の土地の価格というのは、37億円だけでなく、全体で180数億円を見込んでいます。保留地の面積については、ちょっと今日は資料を持ってきていないもので。いま計画の縦覧をやっているのでお示しできるのですけど、ちょっと確認して、犬飼さんにはまた別途お伝えさせていただきます。

**《後日回答 まちづくり計画部 深沢地域整備課》**

保留地の予定面積は、65,780㎡、保留地処分金約184億円と見込んでいます。

**<ダイヤハイツ鎌倉自治会 犬飼会長>**

じゃあ37億円は出るんですね。それと関連して、地価がやっぱり高くなりますよね。皆さん、固定資産税が上がりますよね。

**<まちづくり計画部 林部長>**

保留地処分金を駅に投入することができるのは、駅は区画整理事業と一体の工事として整備するからです。しかしながら、先ほど例として挙げただいた小中学校の整備であるとか福祉施設であるとか、全然別の事業に投入するということは、区画整理法の中の判断で、できないということになっております。税金については、これは算出しているところがあるのですけど、場所によって上がる場所、また下がる場所があります。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

今年会長になったもので、初めて参加することになりました。どんな会議だろうと期待していたのですが、分からないことばかりで、今のお話どうしても分からない。じゃあ、深沢の土地はいま、鎌倉市の土地なのですか。

**<松尾市長>**

先ほど申し上げましたように、約6割をJRが持っています。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

JRですよね。残りは鎌倉市の土地ですか。

**<松尾市長>**

違います。3割ぐらいが鎌倉市の土地です。いま多目的広場として使っています。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

その開発はURがすると言われましたけど、開発をしてお金ができる。その2割ぐらいの鎌倉市の土地から37億円というお金が出てくるのですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

37億円ということではなくて、全体として見込んでいるのは180数億円で、180数億円売れた内の37億円は新駅に投入しようということですね。鎌倉市だけじゃなくて、JRさんからも出していただきますし、市の減歩もありますし、他の民間の方からの幾ばくかの減歩もあります。そうやって生み出した土地を全体として売却していくというものです。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

先ほどのお話だと、41億円かかるのだけど、37億円を充てるのだから、4億円だけでいいよと言われていたのですよね。4億円だけは市の税金で払うよと。それで37億円の話をしているのですよ。

**<まちづくり計画部 林部長>**

保留地処分金が出て、その内から工事費を抜くんですね。180数億円と言いましたが、その売上げの内から工事費というものを出すのです。区画整理の道路を造ったり、雨水調整池をつくったり、公園を造ったりという基盤整備をするための工事費が必要なので。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

そもそも180何億というのは何ですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

それが保留地の処分金の全部の売上げの見込額です。

**<松尾市長>**

いま土地を持っている方たち、6割がJR、3割は鎌倉市ですよね。残り1割はたくさんの100人ぐらいの地権者がいるのですけど、この皆さんから土地を出していただきます。それを売ったお金が約180数億円なのです。



**<まちづくり計画部 林部長>**

で、そこから工事費を抜きます。保留地の内から工事費に充てるお金を。道路を造ったりしなければいけないので。工事のお金が必要なのです。そのために保留地を売るんですね。保留地を売る先は民間の企業さんなどを考えています。そちらに保留地を買ってもらう。そのお金を全部の道路を造ったり、公園を造ったりするお金に充てる。そうやって基盤整理をしたとしても37億円はまだ浮く。だからそれを新駅の分に充てましょう、ということです。

例えば、工事費がもうちょっと下がって、あと4億円工事費が下がるとなって、37億円となったら、市の負担はなくなるという、そういう計算も極端なことを言えばあるのです。ただ、いま工事費は上がっていますから、その辺のバランスというのはこれから見ていかなければいけない。それはいつもそろばんを弾きながら考えています。

**<鎌倉うぐいす山自治会 深谷会長>**

じゃあ市役所の土地は、鎌倉の土地ということですね。

**<まちづくり計画部 林部長>**

市役所の土地もいま8.1ヘクタールあるのですが、それが大体6ヘクタールとか7ヘクタールとかいうふうに面積が減るんですね。その分が取られるということです。市の8.1ヘクタールの土地も同じように減歩を受けるとということです。

**<ダイヤハイツ鎌倉自治会 犬飼会長>**

先ほどの保留地187億円の計上を予定しているということですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

約184億円だったと思います。

**<ダイヤハイツ鎌倉自治会 犬飼会長>**

いろいろ議題はあるのですが、他の議題へ行っていていいですか。JRの引込線の跡地がありますね。あれの利活用は今どういう予定なのですかね。遊歩道にするとか噂ではあるのかもしれませんが、それよりも県道を広げると。柏尾川沿いの。山崎の跨線橋の丁字路なんかは右折車線が狭く、直行するバスがなかなか行けないとかいう問題もそうですし、早く進めていただきたいのですが、県道ということでちょっと難しい課題があるとは思いますが、その計画、予定をお聞かせください。

**<松尾市長>**

ご指摘のとおり、山崎の跨線橋の山崎側、こちらの県道を拡幅するということをやろうとしております。工事するのが神奈川県なものですから、神奈川県と調整をさせていただいて、今年設計を増やしていますので、来年以降、神奈川県の方で工事着手という形に入っています。

### <鎌倉グリーンハイツ自治会 持館副会長>

市長さんにお伺いしますけれど、野村総合研究所跡地のお話が今回の議題には載っていないですけども、その後、跡地はどうなったのでしょうか。

### <松尾市長>

地域の方にしますと大変重要な課題でございまして、実はあまり大きな動きが現時点ではないというところですよ。ご案内のとおり、ちょうどコロナに入る前に公募をかけまして、第1交渉権者、第2交渉権者というところまで決まりましたが、コロナに入った中で、第1交渉権者が、アルビオンアートさんと公表されていますから言えますけど、資金繰りができなくなったということで辞退をされました。そして第2交渉権者に移ったわけなんですけど、こちらその後辞退するということになりまして、現在に至っているというところですよ。

我々もなんとか早く活用を進めてまいりたいと考えておりまして、こういう話をしている中において、神奈川県企業庁から、鎌倉周辺の水道に関する、水を貯めておく場所が必要だという話がありまして、それがいろいろと調査をした結果、野村総研のあの場所でないといけないという結論が出ているというお話をいただきました。いま、鎌倉市として企業庁にどう協力すべきなのか、野村総研跡地の場所をどういうふうにする可能性があるのか、ちょっとその辺りの詳細を詰めているという段階ですよ。

### <深沢地区社会福祉協議会 徳増会長>

ちょっと2件ほどお願いします。

1つは市役所移転に関して、昨年暮れの賛成16、反対10を受けて、市長がおっしゃいましたように、さらさら反対という人もいると思うんですね。もうこれは手の打ちようがないからいいと思いますが、そうじゃない議員、やっぱりいろいろ心配して事前にこういうこともクリアにしないで大丈夫かというようなことを前向きに考えている議員もいると思うんですね。そういう議員さんがね。私も笛田に住んでいまして、このところの深沢の交差点、現在でも信号を1回、2回待ちなんですよ。こんな田舎まちで現状そうなんですよ。非常にそこが心配ですよ。

私が申し上げたいのは、その反対した10人の中で、もう端から話にならない人は別にして、本当に心配して、このことは大丈夫か、あれは大丈夫か、これは大丈夫か、防災は大丈夫か、タンクの容量や貯水池はそれで大丈夫かと、いろいろなことを心配している人もいると思うんですね。心配するところを支障がない程度にはっきりしてくれと、こういうことを理由にして反対した人がすごくいて、これはもっともな反対、言い分としてはもっともなので、市としては、もうちょっときめ細かく検討します、あるいは市はこういうふうを考えてやりますから、そういう内容を説明してほしいのですね。いま分かっている、新聞に出ていることを市はこうやりますからいいでしょというのではなくて、みんなに周知するというのは、やっぱりみんながたぶん不安に思っていることを議員も言ってくれているんじゃないかと私は思うのですね。ですから、もう少し親身になって、反対意見のところの本当に必要だということをきめ細かく対処してほしいというのが1件目のお願いですよ。

もう1つは、ごみ収集の件なんですけど、3地区でモデル事業をやりましたね。鎌倉山、七里ガ浜、山ノ内。私の印象では、七里ガ浜とか鎌倉山というのは戸建てが多くて、鎌倉山などは結構坂道が多いですけども、

意外と一戸建てが多いという印象なんですね。そういうところでごみ収集をやれば、敷地もいっぱいあって、ごみ箱を置けますよね。でもそうじゃないところ、アパートとかごみ箱を置く場所がないとか、そういう人も絶対出てくると思うのです。私が見た周りでも、あそこはどこに置くだろうと。アパートの中で置き場所について喧嘩するか協力するか分からないですけど。戸別収集をやることのメリットが書いてあって、自宅からステーションまでごみを持っていく労力が減るとか、ステーションの管理の問題でいろいろゴタゴタがあるとか、あるいはごみの分別ができないので、そのところはきちっとできていないから、戸別にやればそういうことはできないだろうと、そういうことをメリットに挙げているんですね。

本当にそれだけのことで、コストをかけて、本当にそれだけ相当かかると思うんですね。山の上の方まで土地がありますから、今はこうやってやりながら持ってくるのが、じゃあ取りに行くというようなことを考えると、そういうことを本当に今のメリットと比較して、コスト的にどこまでなされるかということをやちゃんとシミュレーションしているのか。そういうこともちょっと我々には全然分かりません。

で、ごみを有料化しました。その後はどうなっちゃったのかということもよく分かりません。そういうことの整合性をもっといっぱいあると思うのです。だから、ごみの分別が駄目だろう、もう少し市民の意識を高めるためのアクションがあってもいいんじゃないとか、そういうこともあまりなくて、ただ、みんな出し方がいい加減だし分別もできないからごみが減らないんだ、だから戸別にしよう、という方に考えが行っちゃうのがちょっと不思議に私は思うのです。

ですから、ちょっとごみ収集の件は、藤沢市とか葉山町とか横浜市の栄区とかそういうところの状況を我々は知りたいです。どうやっていて、バケツは自分で用意しろと書いてありますけど、ごみを出す場所があって、今度はカラスが突つくことが増える。今はかなり町内会の方で、ネットの網をかけたりボックスをつけてやったり、町内会で負担したりしているのです。そういうものもなくなりますから、もっとまちが汚くなる可能性もあるわけですね。そういうことのプラスマイナスを、こういう場ではもうちょっと丁寧に、「あ、それならメリットも大きいからしょうがないか」というようなことを。これ多分、いざやろうとなって議会を通っても、住民の方から、反対、反対、なんで私たちがごみ箱を自分で用意するのか、置き場所がないけどどうするのかと、もう目に見えて反対の意見が出てくるような気がするのです。だからそうならないようにするために、なにかもうちょっとごみ収集の件については丁寧に対応していただきたいと思います。

### <松尾市長>

ありがとうございます。ちょっと今の状況をご説明させていただきます。確かにごみの戸別収集は費用が増えるというところ。実は鎌倉市でやろうとしたときの試算では、2倍以上増えるという、こういう試算になったところ。その後、近隣の自治体も含めて戸別収集というのがだいぶ日本の中でも関東圏を中心に進んできているという、今はこういう状況にあります。我々がその辺りを調べさせていただく中では、大体平均して1.2倍から1.5倍ぐらいに増えています。藤沢市は1.2倍に増えていました。葉山町については、あそこは直営で収集しているということがありますが、特段なにか職員を増やすことなく戸別収集に移行しているという結果もございます。

それぞれ戸別収集している自治体にヒアリングをさせていただいておりますけれども、ご心配のような懸念というのは、もちろん最初はどうしても変える時にはいろいろと課題がありますけれども、しっかりと職員がそこは寄り添わせていただく中では、運用開始後は大きなトラブルというのはほとんどの自治体で聞かない

状況です。むしろ、戸別収集をモデル地区でやった、ご指摘いただいた山ノ内、七里ガ浜、鎌倉山でもそうだったのですが、実施した後アンケートを取ったところ、約7割、8割の方が「これはもうずっと継続してやるべきだ」というふうにお答えをいただいております。

ですので、もちろんいわずらに費用負担をかけてもいいということではないことは充分承知しておりますので、我々もなるべく費用負担を抑えるべくこの間検討してきておりますので、そこをなんとか皆さんにご理解いただけるレベルにまで下げられるよう引き続き継続してまいりたい、導入の際にはより丁寧にご説明をして進めてまいりたい、というふうに考えております。

#### <鎌倉グリーンハイツ自治会 持館副会長>

そのごみの件なのですが、戸別収集云々よりも、市長さんは夜間収集に切り替えるというお考えはありますか。以前、息子が京都に住んでいて、私も長く京都でちょこちょこ暮らしていたのですが、京都では夜間収集だったのですね。鎌倉市は観光都市で、皆さんおいでになるのに道路が狭くて混んでいて収集もとっても大変だし、カラスがごみを荒らしますが、やっぱり夜間になるとカラスが少しはお休みするようで、あんまり散らかるようなことがなかったように思うのですね。だから、そういう夜間収集というのを、観光都市鎌倉を謳うのであれば、そういうこともお考えに入れていただきたいなと思います。

#### <松尾市長>

ありがとうございます。ご提案としてお受けさせていただきたいと思います。夜間収集はご指摘のとおりいろいろな自治体で実施されているということは承知しておりまして、我々も調べた経過はございます。夜間収集も実は戸別収集と同じで、最大のデメリットは、やっぱり夜間収集するというところで費用負担がかなり上がるというところがございます。その辺りのメリット、デメリットを整理していく中で、夜間収集の手段というのも引き続きちょっと検討事項とさせていただきたいと思います。

#### <大平山丸山町内会 松本会長>

用事で市役所を訪ねますと、古いですし、その中で市の職員が一生懸命働いておられます。今回の移転についても、町内会の役員でずっとヒアリングしていますので、その結果をちょっとご報告して、私の個人的な感想を述べさせていただきたいと思います。

移転について、約半分が賛成、4割ぐらいが条件付きでいだろうと。条件付きというのは、いろいろな先ほどの交通渋滞などの問題です。で、冒頭の市長の説明で、この移転の理由の第一が東日本大震災だとおっしゃいました。私も釜石に3年おりまして、震災の半年後に行って3年ぐらい住んでいました。釜石市役所はたまたま高台にあったので被害に遭っていないのですが、津波に襲われないことを第一の理由にして市役所の移転というのはよく分かるのですが、残った近辺の小学校、御成小学校とかその辺は今後どういうふうに津波対策をきちんとするのか。子どもをどういうふうに誘導するのかということですね。あとは図書館ですね。そこは残るわけですから、その辺もきちんとやっていただきたいと思っております。

それから新駅の移転については、我々、山の高台にいるものですから、新しい駅ができて利用しないのであまり関心はない、藤沢か鎌倉か大船を利用するので、という理由で、アンケートでは約7割が反対しました。賛成の方もいらっしゃいますけど、そういう結果でした。

**<大船ダイヤハイツ管理組合 潮田会長>**

これはもう湘南モノレールさんの話かもしれないですけども、湘南モノレールの湘南深沢駅というのが、ここだけエレベーターがないのですよ。湘南モノレールの方から、鎌倉市がちょっとでも補助金を出してくれたらエレベーターをつくるよ、なんていう話はないですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

湘南モノレールの駅の中で、鎌倉市域の中で少なくとも湘南深沢駅だけがバリアフリー化ができていないというのは存じ上げています。たしか平成30年だったと思うのですが、湘南モノレールがバリアフリーの工事を予定していたのですが、地盤の調査をした結果、より強度のしっかりしたものをつくらなければならない、費用がたくさんかかってしまうという中で、湘南モノレールとしては当初予定していた費用で賄えないのでこれを延期しますとなりました。市は、他の湘南モノレールの駅に対して、バリアフリー化に対しては補助金を出しています。湘南深沢駅についても出す予定でした。延期になりましたので、今後とも湘南深沢駅のバリアフリー化工事に対して補助金を出します。先週も湘南モノレールの社長さんと一日も早くバリアフリー化ができるよう意見交換をさせていただいたところです。

**<大船ダイヤハイツ管理組合 潮田会長>**

いつ頃になるなんていう話はあったのですか。

**<まちづくり計画部 林部長>**

ここで皆様に公にお話しできる時期はないです。

**<大船ダイヤハイツ管理組合 潮田会長>**

自分も年を取ったものですから。生きていうちにお世話になりたいと思っているのですが、これは湘南モノレールの問題ですよ。

**<まちづくり計画部 林部長>**

そうです。湘南モノレールの事業というのが基本にあります。ただ、市としては当然後押しをしてまいりますので、バリアフリーの工事についてはしっかりとサポートしていきたいですし、地域の皆様の直接の利便に直結することですから、それ以外もサポートさせていただけることがあれば検討していきたいと思っております。

**<大平山丸山町内会 松本会長>**

先ほど言い忘れたのですが、交通渋滞の解消に、藤沢鎌倉線のバスレーンの検討について市長から説明があったのですが、大平山丸山町内会のまちも、鎌倉から大船に抜ける迂回ルートになっているのですよね。ナビに入るとあそこが出てくるのですよ。まちの中を通れと。交通事故とか、結構なスピードで30キロ制限のところを50キロで走ったりされているので。おそらく市役所がこちらにできたらもっと交通渋滞になり

ますので、大平山丸山町内会の道路の安全に対しても配慮していただきたいと思っております。よろしく願いします。

#### <松尾市長>

かしこまりました。ご意見として承ります。

#### <レーベンスガルテン山崎自治会 橋本会長>

1つはお願いと、もう1つはちょっとご相談に乗っていただきたいことがあります。

まず、お願いの方なのですが、避難行動要支援者名簿、こちらが令和6年に少しシステムを変えて直されるということがちょっと書いてあったと思うのですが、パソコンに入れないでくださいとかありまして、この紙自体を使って管理するという形を取っているのですけれども、実は住所が、字が大きくて何号棟の何号室というのが出てこないのです。我々のところだと住所の頭までしか出てこなくて、結局それをもう1回なにかに変えないと、どこに住んでる人か分からないということになります。私のところは集合住宅なものですから、そういう意味ではもう少し字を小さくして全部入れてもらいたいなというのを要望しているのですが、それをこういうなにかの時に一緒にやっていただきたいなというのが要望です。

もう1つはちょっとご相談というのがありまして、2か月ぐらい前に避難指示が出たと思うのですが、それはちょっと大雨だったのですね。1時間ぐらいで解除されたのですが、避難指示が出るというのは、地震の時も出るといいますし、風水害の時も出るといいます。この時に土砂災害との関係がよく分からないのですよ。土砂災害の指定区域、特別区域があると思うのですが、そこを通過しないといけないというところがいっぱいあると思うのですよ。避難所は、で、そこをわざわざ雨が降っている時とか地震の後で緩んでる時とか、そういう時に土砂災害の横を通って行った方がいいのか。あるいは、そういうところがもうちゃんと把握されているのだから、雨が降っている時は通れないからもう動かないでくれ、というふうになるのか。非常にケース・バイ・ケースで難しい質問をしているのは分かるのですが、私自身も人に聞かれたり、なにか説明したりする時に、ここをいつも悩んでいます。もしもこの場でお答えいただければ非常に助かります。

#### <市民防災部 永野部長>

避難行動要支援者名簿につきましては、なかなか使いにくい名簿になっていまして、次の変更の時、令和6年度にはなんとか直したいと思っております。ご指摘のところにつきましてもきちっと見直したいと思っております。令和6年度に変更できれば、すみませんが来年はちょっと間に合わないかもしれませんが、令和7年度からの情報には反映できるかなと思っておりますので、よろしく願いします。

また、避難指示の関係なのですが、この間、というか今年だったと思うのですが、土砂災害警戒情報というのが気象台および神奈川県から出されまして、それがレベル4相当ということになります。その時に気象台としては避難してくださいという意味合いで出してくるのですが、前回の時には、土壤雨量指数という土の中にどのぐらい水分が残っているかというような指数を気象台も基にして、雨が降ってもうすぐ上がるかなという時に、あの時は出してきた感じだったのです。我々も雲の動きとか雨の動きとかを最近ではレーダーで見れますし、気象台なども相談し、これ上がるのじゃないかというようなこともいろいろ聞いた中で、前回については急いで小学校を開けたというような状況でした。実際には避難されてくる方はいらっしゃら

なかったのですが、雨の降り方だけでなく、それまでにどれだけ雨が降っていたか、その雨水が土の中にどのくらい残っているかというような情報を気象台のホームページでも見られるのですが、その辺りを基に土砂災害警戒情報というを出しているところです。

実際の避難の話ですけれども、やはりそのところは難しいところだと思います。今日も九州では大雨が降って線状降水帯とか発生しています。あそこまでいってからいざ逃げようと思っても、たぶんどどういう状況でも危険だと思います。川のそばであるとか崖のそばであるとかというところでは、あの状態になってから逃げるというのはちょっと危険なので、その辺は最終的にはご自身の判断になってしまうのですが、ご自宅から避難所へ行くよりも、できるだけ高い2階もしくは3階とかに行くとか、崖に面しているお宅であれば崖から反対側のお部屋に行ってくださいとか、そういうことになる場合もあろうかと思います。ご自宅、もしくはよくいらっしゃる場所の周辺で日頃から崖の状況とかを見ていただき、ひょっとしたら他のところよりも早めに避難しないと逆に危なくなってしまうというところも当然あろうかと思います。いわゆるレッドゾーン、土砂災害特別警戒区域とかもいま見られたりしますので、お近くの周りであればご自身の目で確認することも可能だと思います。どのぐらいの雨になったら避難した方がいいのかというのは、市からも当然避難情報を出しますが、やはりケース・バイ・ケースの部分はどうしても出てきてしまうと思いますので、危険だなと思ったらまず避難をしていただくという方がいいのかなと思います。

先ほど冒頭に、市長から避難所のことをちょっと申し上げました。今までは、風水害の場合には、小学校16校を開けるか、もしくは開けないかという判断だけをさせていただいていたのですが、「うちの周り、ちょっと怖いよね」という方が中にはいらっしゃいます。「避難指示を出すべきだ」とか、このまま台風が直撃する状況ではない時でも、「かなり雨が降ってきているのでちょっとなんとかしたいんです」という方から、ご相談いただく時があります。そういうときに、16校開けるというのはなかなか現実的に難しいところもありますので、そういう方の対応のために、場合によって私どもで判断させていただいているのですが、支所を開けるという判断を、去年から何回かさせていただいたことがありました。このまま雨が降るから小学校を開けなきゃならないよねという時には、支所を開ける予定はないです。支所を開けてから小学校を開けるという順番に開けるというよりも、小学校を開けるまでの予報にはなっていないのだけれども、雨の降り方が場所によっては集中的に降るようなこともありますので、そういう対応を支所もしくは本庁の方でしたいと考えていますので、身の危険を感じた場合には、大雨警報が出れば市の職員が出勤していますので、ご連絡いただければと思います。よろしくをお願いします。

### <いづみ自治会 弦巻会長>

市役所移転に関してなのですが、私は否決された後の市長との対話の場に参加しましたので、そこで出たご意見をちょっと紹介したいと思います。

まず、私もですが、深沢に移転すると思いついていたのですが、それが決まっていなかったということに逆に驚いたのですが、決まっていなのに深沢に移転することが決まりましたという広報が出たことで、税金を使って虚偽の広報を出したという意見に大変に驚きました。

あと、そもそも深沢は洪水とかが来たときに浸水地域になること。あと、海のそばに住んでる方たちからは、市長はいつ災害が来るか分からないと言っておきながら、海の方には避難タワーの1つも建てていない。こういった指摘がありました。

ここにおられる方は皆さん、今もいろいろな疑問があると思うのですが、議会を傍聴していただくと反対意見の議員の意見とかが聞けますので、ぜひ録画で見えていただくとより理解が深まるのではないかと思います。私としては絶対反対というわけではないのですが、なにかこの書き方も、否決されたとなっていますけど、そもそも最初にやらなければいけなかったことを後延ばしにして、なにか話が半分進んでからこの位置条例をやって、この結果で市長はいいのかなと、私は個人的に思っています。

あと、新駅ですけど、昭和61年に事が遡るといことなのですが、そこから半分状況が違います。子どものこととか人口のこととか。市長も鎌倉市民が使うものではないというふうにおっしゃっていましたが、まちづくりの一環としてつくっても、利用しない人がほとんど、箱物みたいな感じで終わるのではないのかなと思います。

あと、ちょっと違う話ですけども、昨年から救急車の数が大変に増えてきています。本当に朝から晩まで救急車が走っていますが、昨年からは始まっていて、これは議会でも取り上げられています。データでもきちんと出ていますけれど、これについて、その原因は、究明しないとか確認しないみたいなこととされていますけれど、それは変わらないのでしょうか。

#### <松尾市長>

ありがとうございます。いくつかご指摘いただきました。まず、広報かまくらで移転しますと。これは、行政計画として位置づけするということについては決して間違っていないので、もちろん議会の議決がなければできないのだからまだ決まっていない、という捉え方ももちろんできますけど、それを申し上げれば、行政を進めていくものというのはやはり計画をきちっと作りながら議会で予算を議決いただいて進めていくというものですから、その方針すら示せないとなるとそこでの議論もできないというところがあります。そういう意味では、きちんと行政計画をつくりながら進めて1つ1つ議会のご理解、議決をいただいて進めていくということですので、私とすると決して虚偽のことを書いているということではないと理解するところでございます。

位置条例をずっと取らずに今頃というご指摘がございました。この位置条例は、日本全国いろいろと市役所移転の事例がありますけれども、さまざまなタイミングで位置条例を提案しております。まず私の考え方からしますと、位置条例を通すのはやっぱり3分の2以上の賛成が必要ということで、非常に難しさを感じていました。ではどういうふうになったら可決いただけるかという、それまでの議会の議論でもありましたけれども、やっぱり現在の市役所の場所の活用というのが、やっぱり近隣の方々は大変ご不安ですし、そこが心配で反対をされているというお声もたくさんいただいてきました。やはり市役所の現在の場所が具体的にどうなるのかということをお示しすることが1つポイントだろうと考えておりましたので、その計画を急ピッチで進めてきたところもでございます。それらがそろい中で、しかるべきタイミングでこの位置条例を出してこうと構えていたものですから、逆に言うと、あまり早くにとるとむしろ何も形が決まっていない中で、いわゆる白紙委任みたいな形にもなりますから、そういうわけにもいかないところがあるので、これは答えのない話なので難しいのですけれども、ある程度ご理解をいただいた段階で議決をいただくというのが適切だろうと考えて進めてきたところでございます。今回、否決ということを受けましたので、これから先は、どのタイミングというより、しっかりとご理解いただいて可決していただける見込みが立てば、議会に改めて再提案してまいりたいと考えているところでございます。



それから、新駅につきましては、現時点でいまお住まいの方が新駅を使うというのは、限りなく少ないだろうということは予想できる部分ではありますけれども、決して誰も使わない新駅ということではなくて、深沢のまちができれば使う方も当然出てきますし、鎌倉側、藤沢側、両方で新駅ができることによってまちづくりが進んでいくことで、利用者というのは当然出てきますので、決して箱物になるというような考え方は、我々は予想としても全く思っていない、こういう考えでございます。

それから、救急車が大変増加しているというところです。決して爆発的に増えているということではございませんけれども、救急件数が増えているという状況でございます。これはさまざまな要因があろうかと思っておりますので、直ちにそれが何かという結論を導くのは難しいですけれども、今後、年間の件数の中での要因の分析というのは当然やってまいります。消防と連携しながら件数の増加要因はしっかりと見ていく中で、本当に必要な方が救急車を使えないという状況が起きるとというのが我々一番懸念するところでございますので、そういうところを含めてしっかりと分析というか見てまいりたいと思っております。

#### <第六地区民生委員児童委員協議会 宮田会長>

お願いがございます。大平山丸山町内会の町内からモノレールの湘南町屋駅へ下りていく市道の左側の法面ですけれども、逗子市で子どもの不幸な事故がありましたけれども、あそこの法面が薄暗く、もう今にも上から落ちてくるような草とか木が生えているのですが、あの道路の法面は管理上問題ないのですか。要するに、道路の下り坂の左側の法面が、あれは市として管理するのに適切な方法になっているのでしょうか。富士塚小学校への子どもが通学する通学路でもあるし、我々の生活道路なのですが、あれが適正な法面の管理状況かどうかを教えていただきたい。

#### <松尾市長>

ありがとうございます。すみません、現地がどのような状況になっているのかいまちょっと思い出せないものですから、しっかり現地確認して宮田さんにご連絡させていただきたいと思っております。

#### 《後日回答 都市整備部 道水路管理課》

現地を調査したところ、道路沿いの土地から市道上に草木が繁茂し、通行上支障となっている状況を確認しました。市有地から生えた草木については、令和5年（2023年）9月上旬に枝払いや雑草の刈り込みを行いました。

一方で、民有地部分から生えた草木については、市が枝払いや刈り込みをすることは出来ないため、土地所有者に対して適切に管理していただくよう要望いたしました。